

令和7年度 第27回湘南女性ソフトボール大会要項

1. 主催 平塚市ソフトボール協会・寒川町ソフトボール協会
鎌倉市ソフトボール協会・藤沢市ソフトボール協会・茅ヶ崎ソフトボール協会
2. 主管 平塚市ソフトボール協会・寒川町ソフトボール協会
3. 開会式 6月1日(日) 藤沢天神スポーツ広場 8:30~
4. 試合会場 6月29日(日)寒川田端 11月23日(日) 平塚大神
5. 参加資格
 - 1) 湘南地区(鎌倉市、藤沢市、茅ヶ崎市、平塚市、寒川町)に在住、在勤、在学する15歳以上の女性によって編成され、鎌倉市、藤沢市、茅ヶ崎、平塚市、寒川町各協会が出場を認めたチーム(但し、高校生チームに選手登録しているものを除く)。選手登録は20名以内とし、監督、コーチが選手の場合20名に含む。但し、監督・コーチは選手でなければ、一般男性でも可。
 - 2) 藤沢市、茅ヶ崎、鎌倉市、平塚市、寒川町各協会及び神奈川県協会に登録している実業団チーム及び選手は出場できない。
6. 選手登録 20名、監督・コーチが選手として出場する場合は20名に含め、選手登録をすること。
7. 競技規則
 - 1) 2025年度(公財)日本ソフトボール協会制定の競技規則による。
 - 2) トーナメント戦 7回戦 70分を経過して新しいイニングに入らない。
 - 3) 70分又は7回終了時、同点の場合2回までのタイブレイクを採用する。
・それでも同点の場合は最終出場者9人による抽選で決する。
 - 4) 5回以降7点差コールドゲームを採用する。
 - 5) 危険防止のため金属スパイクの使用不可。
 - 6) 敗者戦は行わない。
 - 7) 登録選手の追加・変更は、試合当日、メンバー表提出前に会場責任者に提出のこと。
 - 8) 前回大会の優勝・準優勝チームをシードする。
(第26回大会優勝: 藤沢リブロ、準優勝: 茅ヶ崎PALS)
 - 9) 同地域チームが1回戦で当たらないように配慮する
 - 10) 別紙「競技場の注意」を遵守してください。
8. 使用球 ケンコー(株) 検定ゴム3号球
9. 大会参加費 11,000円/チーム
10. 申込方法
 - ① 申込用紙に必要事項を記入し、申込期限迄に1部郵送かPCメールで申し込むこと。
但し、間に合わない場合には電話で申し込み可。申込用紙は代表者会議に持参すること。
 - ② 藤沢市体育協会ホームページより申込用紙をダウンロードし、申し込むこと。

申込み先 平塚市ソフトボール協会 理事長 吉田 忠之
住所: 〒254-0904 平塚市根坂間255-5
TEL: 0463-34-3269 (Eメール) kagatyou-0602@outlook.jp
11. 申込期限 5月15日(木)
12. 代表者会議 5月17日(土) 午後7:00から
藤沢市秩父宮記念体育館2F研修室と会議室A 大会参加費11,000円を持参して下さい。
13. 連絡先 平塚市ソフトボール協会 理事長 吉田忠之 携帯 090-7404-1523
14. 表彰 優勝チームに優勝杯(持ち回り)・盾・賞状、準優勝チーム賞状を授与する。
15. その他
 - 1) 試合中の負傷については救急処置のほか、その責任を負わない。
 - 2) 傷害及び器物破損に関しては、各チームでスポーツ傷害保険に加入、処置して下さい。
 - 3) 大会期間中に撮影された写真を公開する事がありますのでご了承下さい。
17. 雨天時の問い合わせ先 会場ごととする。午前7:30から受け付けます。
① 寒川田端: 寒川町ソフトボール協会 高橋理事長 携帯 **090-6541-7172**

1、開会式

(1)開会式には、各チーム2～3名は**正規の服装**で参加すること。

2、試合

2-1 選手の集合時間

試合開始予定時刻の30分前までか、前の試合の4回終了時までには当該球場に集合すること。

2-2 打順表の記入と提出

(1)試合開始予定時刻の**30分前**又は、前の試合の**4回終了時**に、打順表に必要事項を記入し、**必ず「ふりがな」**を付けて当該球場審判員に提出すること。

(2)4枚提出(放送設備がある場合は5枚提出)し、審判員・記録員の照合のうえ、審判員より 自チーム相手チームの打順表を受け取る。

(3)一度提出された打順表の打順は**変更出来ません**。

(4)打順表に**記載のない控え選手は、当該試合に出場することが出来ません**。

(5)**試合当日の登録選手の追加変更は、メンバー表提出前に会場責任者に提出のこと**。

2-3 攻守順の決定

(1)打順表提出時に審判員・記録員立会いの下「コイントス」によって決定する。

(2)コインの表裏の選択は、**先着(打順表持参)チームに優先権**を与える。

2-4 ベンチ

(1)組合せ番号の若い方を一塁側とする。

(2)ベンチの人員は、登録されている監督(1名)・コーチ(2名)・スコアラー(1名)・選手(20名以内)とする。

2-5 フィールドング

(1)競技場に入ることを許された**ユニフォームを着用したメンバー**で行うこと。

(2)後攻チームより、5分間(終了予告1分前)とし審判員・記録員の指示に従うこと。

なお、大会運営の都合により、時間の短縮又は行わないことがある。

2-6 用具

(1)用具の点検

①バットは、バットゲージ及び目視、感触で点検し、ヘルメットは目視、感触で点検する。

・長年使用し**JSA検定マークが消えたバットは、使用出来ません**。

・打者用ヘルメットは**JSA検定マークが無いと使用出来ません**。

・捕手用ヘルメットは**JSA検定マークが無いと使用出来ません**。

・捕手用ヘルメットは**SGマークが入っているものを着用しなければならない**。

②競技用具は当該審判員が確認し、規格以外の用具及び危険と思われる用具は試合から除かれます。

(2)用具の使用

①打者、走者、次打者は、**両耳当ての有るヘルメット**を着用しなければならない。

②捕手は、ボディプロテクタ、ヘルメット、スロートガード付きマスク、レガースを両足に着用。

③ロジンパッグはチームで用意し、審判員の確認を受け使用出来ます。

2-7 競技開始

(1)球審の「集合準備」の合図で自陣ベンチ前に一列横隊に並ぶ。

(2)「集合」の合図と同時に駆け足でホームプレートを挟んで整列する。

(状況によっては「感染拡大の特例処置」として自陣ベンチ前で「礼」の合図で一礼することもある。)

2-8 試合中

(1)攻撃側は必要により「**テンポラリーランナー**」が使えます。

(2)守備側は必要により「**故意四球**」が使えます。

(3)「雷鳴」による事故防止のため、かすかな雷鳴が聞こえても試合を中断し、安全な場所に避難すること。

3、その他

(1)試合会場のバックネット裏は、大会役員及び関係者用です、選手の立ち入りは出来ません。

(2)受動喫煙防止に関するお願い。

(3)グラウンド内での投球練習は、危険防止のため外野方向に向かって行うこと。捕手は、捕手用ヘルメットとスロートガード付きマスクを着用して下さい。

(4)ファウルボールの処理は、攻守に関係なくベンチ側チーム員が行って下さい。。

(5)球場内でのゴミの投げ捨ては厳禁です、必ず持ち帰りましょう。

(6)試合終了後のグラウンド整備、跡片付けにご協力下さい。